

### 3年分科会 研究構想図

【これまでの研究の成果 (○) と課題 (●)】  
 ○ゲスト・ティーチャーを身近な地域の人に依頼することで、より地域に親しみをもつ姿が見られた。  
 ○「いかす」を設定したことで、単元を通して市民としての意識が高まった。  
 ●消防単元の「いかす」が警察単元の後だったので、警察関係の意見が多くなってしまった。  
 ●年表を書くなどの技能の習得に課題があった。

【3年社会科の課題 (◆) と方向性 (◇)】  
 ◆地域ごとに異なる教材や人々の思いの教材化  
 ◆地域社会との関りが希薄していること  
 ◇地域教材の開発や関わる人の姿の教材化。  
 ◇学習の見通しをもたせるための単元導入場面の工夫。  
 ◇問題解決的な思考を導くための単元展開の工夫。

## 社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する社会科学習～

### 目指す子供像

自分たちの暮らす地域への理解をもとに、地域社会のこれからの考えようとする子供

### 研究の仮説

自分たちの暮らす地域を理解すると、地域社会への誇りと愛情をもち、地域社会のこれからの考えようとする子供が育つであろう

### 研究の内容

| 主体的に追究する問いの工夫  | 見方・考え方を働かせる<br>学習活動の工夫   | 子供の学びを確かにする<br>評価の工夫  |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分と地域のつながりを考えられる問いの設定</li> <li>・着目して調べる視点を明確にした問いの工夫</li> <li>○疑問から問題意識を高める問いの設定</li> <li>・疑問を導く発問や地域の教材提示の工夫</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○対話的に学習を進めるための学習活動</li> <li>・対話を通して比較・分類・関連・総合など、見方・考え方を働かせる活動の設定</li> <li>○見通しをもって主体的に学習を進める単元展開</li> <li>・単元のゴールをイメージした学習計画の工夫</li> <li>・市民の一人として自分にできることを選択・判断する場面の設定</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○子供の理解や思考を表出させる表現方法</li> <li>・ノートやワークシートなどの書かせ方の工夫</li> <li>○見通しと振り返りを関連させた評価</li> <li>・まとめと振り返りを分けて書ける工夫。</li> <li>・地域とのつながりを学習内容と結び付けて振り返る活動の工夫</li> </ul> |
| 教材開発や教材分析の視点   |  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○子供の問題意識を高める問いの設定</li> <li>・消防単元の学習を生かした警察単元における問いの設定</li> <li>・軽重をつけた内容の取り扱い</li> <li>○対話的に学習を進めるための学習活動</li> <li>・安全を守る取組を多角的に捉えるためのゲストティーチャーや施設見学などの活用</li> <li>○子供の理解や思考を表出させる表現方法</li> <li>・消防、警察の両方の小単元で「いかす」を設定し、安全単元で目指す児童の姿を具現化</li> </ul> |  |   |